

Yell エール

2024年
春号
Spring

敦賀医療センターにつながるすべての皆様に応援します

ご挨拶

副院長 井上 仁



私は当院へ2001年7月1日血液内科医として赴任し、今日まで勤務してきました。

22年半の長い期間勤務させていただきましたが、この度3月末をもって定年退職を迎えることになりました。北陸新幹線の敦賀延伸が1年延びたため、私の退職とちょうど同じ時期となりました。私の勤務期間に、当院の病院名も国立療養所敦賀病院から国立福井病院、独立行政法人国立病院機構福井病院、国立病院機構敦賀医療センターと幾度も変わりました。

また在任中の院長先生も何人も代わられたので改めて振り返ってみると、赴任時の院長は吉光外宏先生で、外科専門の温かな先生で、私を敦賀へお招き下さいました。次は千葉幸夫先生で胸部外科が専門でしたが、麻酔科もこなされ、内科診療もお手伝い下さいました。その後、半田裕二先生が院長に就任されました。半田先生は、脳外科が専門で3テスラの高性能MRIを周辺地域でいち早く導入されました。そして現在の飯田敦先生へとバトンが渡されました。以上の諸先生方を一人一人思い

出していると、それだけ長い年月が経ったことを改めて思い知らされました。

私の医師人生の3分の2が当院での在任期間であり、たくさんの血液疾患の患者様を担当させていただきました。思い出に残る患者さんの顔が、今でもなつかしく思い出されます。この中には懸命の治療にも関わらず思い通じず大病の前に命尽きた患者様もおられました。私と共に難病を乗り越え、現在も元気に外来通院されている患者さんも多数おられます。担当させていただいた患者様から、私は色々な事を教えられ、一緒に成長してきたと思っておりますので、この場を借りて改めて感謝申し上げたいと思います。また当院でお世話になった各科の諸先生方、私を支えて下さった看護師、薬剤師、技師等当院における医療スタッフの皆さんにも厚くお礼を申し上げます。

最後になりましたが、当院へ通院中のすべての患者様方へ、これからも引き続き敦賀医療センターを応援下さいますようお願い申し上げます。



当院の「糖尿病センター」について

内科医長 森島 繁

当院では、令和5年6月より「糖尿病センター」を開設しております。

糖尿病の患者さんは全国で1000万人を越えており、多くの方は医療機関にかかって薬による治療や食事・運動に気をつける一般療法を行っていますが、それにも係わらず、なにやら得体の知れないあるいは万病のもとのような感じのするこの病気に対して、漠然とした不安を抱いているのではないのでしょうか。

当センターは、糖尿病の患者さんに対して、糖尿病の治療はもちろんのこと、普段の食事のことや生活のご相談まで心置きなくご相談して頂けるよう、医師・看護師・栄養士・薬剤師などの多職種専門職による診療の場であることを目指しています。

具体的には、“一般糖尿病外来”のほか、“糖尿病看護外来”を設置し、患者さんが透析に至らないよう医師や栄養士、薬剤師と連携し、栄養指導や日常生活の相談に乗りながら、透析にならないよう腎臓を守る方法や、足や下肢全部を切らないで済むように皆さんと一緒に考える活動を行っています。特に、足の傷からばい菌が入って壊疽にならないよう「清潔に足を保つ方法」や、「靴・靴下の選び方」、「安全な爪の切り方」など、専門

の看護師が実際に患者さんの足のケア（フットケア）を行いながらアドバイスをしています。



当院の「糖尿病センター」は、当院受診中の糖尿病患者さんのほか、かかりつけの先生からのご紹介があれば診療いたします。診療後は、かかりつけの先生にいつも通り通院して頂きますので、ご興味のある方は、かかりつけの先生にご相談下さい。私たちスタッフ一同、力を合わせて、地域の糖尿病患者さんの健康で充実した暮らしをサポートできるよう、全力で取り組んで参ります。



睡眠時無呼吸症候群の検査 (終夜睡眠ポリグラフィー)



研究検査科 臨床検査技師長 齊藤 由美

睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは、睡眠時に呼吸が止まり、それが原因で日常生活に様々な障害を引き起こす疾患です。日中に強い眠気が出現するため、交通事故や産業事故につながることもあります。また、中等症・重症の睡眠時無呼吸症候群を放置すると、心筋梗塞・脳梗塞などを引き起こしやすくなり、死亡率も高くなります。

SASの重症度は、一晩の睡眠を通して、1時間あたりに無呼吸や低呼吸(呼吸が浅くなる状態)が何回起こるかを測定した値によって決まります。この測定値のことをAHI(Apnea Hypopnea Index=無呼吸低呼吸指数)と言います。AHIを簡単に測定するためには、ご自宅に検査機器を持ち帰り、ご自分で取り付けて就寝していただきます。ただしこれは簡易的な検査になりますので、結果により、より詳細な精密検査(入院検査)が必要と

なる場合があります。精密検査では、夕方来院の上入院していただき、臨床検査技師が検査機器を装着して、就寝します。翌朝には検査機器を外して退院していただけますので、お仕事を休む必要はほとんどありません。結果は後日ご説明します。以下のような症状がある方、特に日中眠くて仕方が無いことがある方は、是非受診して検査してみてください。

睡眠時無呼吸症候群の症状

- いびき
- 睡眠中に呼吸が止まることがある。
- 夜中に目が覚めてしまう。
- 日中の眠気
- 常に倦怠感やだるさがある。



Topics **地域医療連携 病院** の紹介

整形外科診療の“灯台” 

私、市橋幸三が1995年からの国立療養所敦賀病院（現国立病院機構敦賀医療センター）勤務を経て、この地で開業したのは2001年4月9日。以来、整形外科一次専門外来として整形外科疾患・外傷一般について地域の皆様の健康をサポートすべく診療を続けて参りました。

当院のシンボルマークは“灯台”です。港町敦賀の医院であることはもちろん、もう一つの意味は、「当院は、怪我をしたり病気になるって困っている患者様が、まず当院に来ていただいたときにどうすれば治癒するのか、どうすればより良くなるのか、どこへ向かえばいいのか、を的確に示すことが出来る場所」というものです。一人院長の無床診療所で、患者様に対し



し当院で出来る・対応可能な治療は全力で行い、当院では出来ないが、より適切な治療・手術がある場合には、敦賀医療センターをはじめ適切な基幹病院等を紹介させていただく事を使命と考えております。

当院では特に2つの項目について積極的に取り組んでいます。

まず運動器リハビリテーション（運リハ）です。10年前より治療内容の一層の充実を目指し、理学療法士（現在4名）による運リハを開始し、積極的な保存（手術をしない）治療をめざし日々取り組んでいます。またこの運リハは、敦賀医療センター等での手術後のリハビリテーションにも十分対応できるものとなっています。もう一つは、骨粗鬆症への取り組みです。当院では“骨粗鬆症リエゾンサービス”に準じ当院スタッフ一丸となり骨粗鬆症に対する診療を行っています。

当院で、全ての整形外科疾患に対して万全の治療体制で臨んでいますとは申せません。しかし全ての職員が日々研鑽を続け、全ての整形外科疾患に対し“今より良い状態に進むべき進路を指し示す”を目指しています。その進路の一つに敦賀医療センターがあります。



医療法人 幸仁会
いちはし整形外科
理事長 市橋 幸三

Topics

Close up!

**敦賀医療センター
公式Instagram開設!!**

看護部 教育担当看護師長 西本 聖子

令和5年12月1日、当院公式Instagramを開設いたしました。地域住民への情報発信・当院を利用されている患者さんやご家族・当院に関心がある人達に敦賀医療センターのことをもっと知っていただきたいと思っています。

開設して2か月ですが、入院患者さんや職員の癒しとなるようなクリスマス飾りをしたことや、新人看護師研修の様子、看護部インターンシップのお知らせ、能登半島被災地へのDMAT隊派遣、皮膚・排泄ケア認定看護師による同行訪問（在宅で療養されている患者さんに対し専門的なケアを直接自宅で提供する）開始のおしらせを投稿しています。地域医療に貢献したいと考えている方、当院の医療・看護について知りたいという方、当院を利用されている方々に有用な情報を発信していきます。併せてホームページにも当院の情報を掲載していますのでご覧になってください。



私たちも活躍していきます

医局・看護部・薬剤部・検査科・放射線科・事務・リハビリ科・栄養科・療養指導室、地域医療連携室からの情報も発信していきます。アットホームな雰囲気をお伝えしたいです。（*ハブハ*）

外来診療連携のご案内

開業医からのご紹介患者さんについて、初診の患者さんも待ち時間なくスムーズに診察できますよう地域医療連携室を通じて簡便に、初診予約をお取りいただけます。診療予約申込書をご利用いただくか（ホームページよりダウンロードできます※）、診療情報提供書にてお申込みください。

また、当院は多種にわたる検査機器を配備しており、これらの機器を地域の開業医のみなさまに共同利用していただけるよう、地域医療連携室を通じて予約をお取りしています。結果に関しては、迅速に報告書をお届けできるように心がけております。

※ ホームページトップ ▶ 医療関係者の方 ▶ 医院・クリニックの先生方 ▶ 『診療情報提供書（診療予約申込書）』をクリック

受診の流れ



外来診療担当表

令和6年4月1日～

診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考
内科		森島	森島		森島	森島	初診は紹介制（要予約）のため紹介が必要となります。
一般糖尿病外来						森島	
糖尿病看護外来						森島	第2・第4週 【完全予約制】13:30～15:00
膠原病内科						廣田	初診は紹介制（要予約）となります。
呼吸器内科			中嶋		片岡		
消化器内科		内藤	山本				初診は紹介制（要予約）となります。
循環器内科		荻野					初診は紹介制（要予約）となります。
血液内科					山内/周藤/位田	井上	第3金曜日 第1・2木曜日:山内 第3・5木曜日:周藤 第4木曜日:位田 初診は紹介制（要予約）となります。
脳神経内科	午前					榎本	初診は紹介制（要予約）となります。
	午後		遠藤				火曜日（午後）受付時間15:00まで 診療時間13:00～15:30
『こころ』の科（精神科）						神谷	【完全予約制】
小児科	午前	野坂	平城	清水	竹内元	平城	火曜日（午後）重心外来 水曜日（午後）予防接種・乳児健診・重心外来
	午後	1診 平城	2診 竹内元(重)	3診 竹内元(重)	4診 清水(予)	清水	【予約制】前週の金曜日までに電話にてご確認下さい 月・金曜日（午後）一般受付13:30～15:30 診療時間13:30～15:30
外科	午前	5診 戸川	6診 戸川	7診 佐藤	8診 戸川	9診 田中	金曜日11:00～12:00
		10診 田中	11診 大西	12診 木村	13診 佐藤	14診 大西	
		15診		16診 戸川			
	ストマ外来				外科担当医		
緩和ケア外来						戸川	緩和ケア外来【完全予約制】 金曜日10:30～12:00
整形外科	午前	1診 久保田	2診 久保田	3診 久保田	4診 竹谷	5診 竹谷	木曜日（午後）受付時間15:00～17:00まで
		6診 塩谷	7診 塩谷	8診 塩谷	9診 塩谷	10診 塩谷	
		11診		12診 齋藤			
	午後						
リハビリテーション科		竹谷	竹谷	竹谷	竹谷	竹谷	
呼吸器外科					佐々木		診療時間9:00～11:30（隔週）
脳神経外科		有島		菊田		東野	受付時間10:00～11:30（金曜日のみ）診療時間10:30～12:30（金曜日のみ）
心臓血管外科						森岡/山田	第2・第4週 受付時間12:30～14:30 診療時間13:00～15:00
皮膚科		浦邊					
泌尿器科			徐/垣鏑		大江		受付時間 火曜日8:40～12:00 木曜日8:40～10:30 診療時間 火曜日9:30～13:30 木曜日8:40～11:30
婦人科			宮崎			山田	受付時間 9:00～13:00 診療時間 9:30～13:30
眼科	午前	岡田	岡田	岡田	岡田	※	火曜日（午後）：手術日 ※特殊検査【予約制】
	午後	※		※		※	
耳鼻咽喉科		加藤(幸)		岡本		加藤(永)	補聴器外来:金曜日【予約制】
放射線科		西川	西川	西川		西川	

● 診療受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで（予約制及び休診にご注意下さい。） ● 受診の時は、必ず保険証・医療証等をご持参下さい。

独立行政法人国立病院機構 **敦賀医療センター**
〒914-0195 福井県敦賀市桜ヶ丘町33番1号
TEL:0770-25-1600 FAX:0770-25-7409

〈地域医療連携室〉直通 FAX.0770-25-0354

<https://tsuruga.hosp.go.jp/>

病院ホームページ ▶



敦賀医療センター 🔍

編集後記 春の足音が日に日に近づいて来るのを肌で感じ、心が何だかワクワクする季節となりました。

別れと出会いが交錯するこの時期に、昨年の秋号に引き続き春号を発行することが出来ました。広報誌発行にご協力いただいた皆様方に心から感謝申し上げます。

いよいよ新年度が始まりますが、新しい取り組みや情報も発信してまいりますので、取り上げて欲しい記事等があれば、広報誌班に情報提供願います。

最後に、この春に当センターから旅立たれる皆様におかれましては、病院運営に大変ご尽力いただき誠にありがとうございました。

次の新たなステージでのご活躍を祈念しております。

